

3 学校教育計画

4年間の目標と主な方策(令和6年度～令和9年度)

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的、対話的で深い学び」の実現に向け、組織的な授業改善を推進し、創意工夫を活かした教育活動を展開する。 ・新学習指導要領の全学年実施に伴い、カリキュラムの計画、実施、評価、改善に組織的かつ計画的に取り組む。 ・生徒の主体的な活動を通して、学校行事や生徒会活動等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に継続的に取り組み、生徒がICTを利活用することで主体的に学習に取り組めるような授業の工夫、充実を図る。 ・生徒の進路状況や社会の変化に対応した教育活動を展開するためのカリキュラムを編成する。 ・学校行事の企画運営を、生徒会役員及び委員会組織等を中心として生徒が主体的に行えるよう支援する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生徒が大和南高校の生徒として、また地域社会の一員としての自覚と責任を持って行動することで、地域に愛され、信頼される学校づくりを目指す。 ・個々の生徒の状況に応じた支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の挨拶やコミュニケーションを大切にすることで、互いに尊重しあえる関係を構築する。 ・時間とルールの遵守について、年間を通して段階的に指導する。 ・教育相談やケース会議を効果的に運用するため、瀬谷支援学校分教室とも連携し、校内の支援体制を整備する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが社会的情勢の変化に対応して自立するために、生徒の個性に応じた進路決定を支援する。 ・生徒が将来の職業を意識して、主体的に行動するためのキャリア教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業を意識した進路選択をするために、総合的な探究の時間の活用や体系的な進路ガイダンスを実施する。 ・目標達成に向けた学力の到達度などをICTを用いて可視化し、自己実現に向けた課題の解決を主体的に行う力を養う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・本校及び地域の行事等において、本校生徒と地域とが協力して活動することで、地域との交流を充実させる。 ・近隣中学校との部活動における交流を図る。 ・本校からの情報発信を強化し、本校への理解の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭をはじめとする様々な行事における分教室や地域との連携を検討し、積極的な交流・協力を推進する。 ・部活動において、部活動見学や練習等の機会を設けて近隣の小・中学校等との交流を行う。 ・本校から地域への情報発信のための様々な方策を工夫する。
	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・予期せぬ災害についても対応できるように、生徒の防災意識を高めるとともに、防災体制の整備を進める。 ・学校施設、環境の整備に努める。 ・職員間の連携を深め、不祥事を起こさない職場づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、DIG（図上訓練）等を実施し、災害時の自助・共助・公助の考えを身に付けさせるとともに学校としての備えを充実させる。 ・関係部署と連携を取りながら、物品の刷新を図り、学校施設、環境の整備を進める。 ・不祥事防止のため、職員間で互いに尊重し合う体制を作り、職場環境の改善を図る。